

# 添付資料

2017年12月改訂

貯法 室温保存

動物用医薬品

要指示医薬品

承認指令番号

25動薬第280号

販売開始

2015年8月

FACING

猫用ノミ駆除・寄生予防／マダニ駆除剤  
猫の犬糸状虫症予防／消化管内線虫・糸虫駆除剤

# ブロードライン®



917308

FACING

猫用ノミ駆除・寄生予防／マダニ駆除剤  
猫の犬糸状虫症予防／消化管内線虫・条虫駆除剤

# ブロードライン®

【成分及び分量】 1 mL中に下記の成分を含有する。

主 剤	フィプロニル	83.0 mg
主 剤	(S)-メトブレン	100.0 mg
主 剤	ブラジクアンテル	83.0 mg
主 剤	エプリノメクチン	4.0 mg

【容量規格】 2規格

規 格	フィプロニル／(S)-メトブレン／ ブラジクアンテル／エプリノメクチン溶液
猫 2.5 kg 未満	0.3 mL
猫 2.5 ～ 7.5 kg 未満	0.9 mL

【効能又は効果】

猫：犬糸状虫の寄生予防  
ノミ及びマダニの駆除

ノミ卵の孵化阻害及びノミ幼虫の変態阻害によるノミ寄生予防  
回虫（猫回虫）、鉤虫（猫鉤虫）及び条虫（瓜実条虫、猫条虫、  
多包条虫）の駆除

【用法及び用量】

犬糸状虫の寄生予防

毎月1回、1ヵ月間隔で、猫の肩甲骨間背部の被毛を分け、皮膚  
上の1部位にシリンジ全量を滴下する。投薬期間は、蚊の発生1ヵ月  
後から蚊の発生終息1ヵ月後までとする。

ノミ及びマダニの駆除

ノミ卵の孵化阻害及びノミ幼虫の変態阻害によるノミ寄生予防  
回虫（猫回虫）、鉤虫（猫鉤虫）及び条虫（瓜実条虫、猫条虫、  
多包条虫）の駆除

猫の肩甲骨間背部の被毛を分け、皮膚上の1部位にシリンジ全  
量を滴下する。

体 重	容量規格
2.5 kg未満	0.3 mL入りシリンジ1本
2.5 ～ 7.5 kg未満	0.9 mL入りシリンジ1本
7.5 ～ 10.0 kg未満	0.3 mL入りシリンジ及び 0.9 mL入りシリンジ各1本

【使用上の注意】  
（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

- （一般的注意）
- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

・猫以外の動物には使用しないこと。ウサギにおいて重篤な副作用が認められることがあるので、特にウサギには使用しないこと。

（使用者に対する注意）

- ・内容液を直接手で触らないこと。
- ・喫煙や飲食をしながら投与しないこと。
- ・本剤投与後、完全に乾くまで（通常4時間程度）は投与部位に直接触れないこと。また、投与したことを知らない人も触れないように注意

すること。特に小児がいる多頭飼いの家庭で複数の猫に同時に本剤を投与する場合は、投与した猫と小児との接触を避けること。

・本剤は、投与後の猫と小児との接触を避けるよう大人が注意を払える時間帯に投与すること。特に、3歳以下の幼児が投与後の猫に触れた場合、その手を口に持っていく可能性があり、体重あたりの薬剤暴露量も大人より大きくなるので、3歳以下の幼児がいる家庭で本剤を使用する場合は、投与部位が完全に乾くまで投与した猫と幼児との接触を完全に避けること。また、その後も幼児が投与した猫に触れた場合は、必ず石けんで手をよく洗うこと。

（猫に関する注意）

- ・本剤は外用以外に使用しないこと。
- ・本剤投与後の猫の水浴あるいはシャンプーの影響については検討されていない。投与後1ヵ月以内に、猫が少し濡れた場合でも、本剤の有効性に著しい影響は無いものと予想される。本剤投与後2日間は、水浴あるいはシャンプーを控えることが望ましい。
- ・本剤に含まれる有効成分に過敏症状を示したことのある猫と本剤との接触を避けること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しいところに包装箱のまま保管すること。
- ・本剤は魚及びある種の水棲生物に影響を与えるので注意すること。また、容器及び残りの薬剤は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・内容液が皮膚に付着した場合は、まれに一過性の皮膚反応が起こることがあるので、使用後は直ちに石けんで、手をよく洗うこと。
- ・誤って目に入った場合は直ちに流水中で洗い流すこと。刺激が続くような場合は、眼科医の診察を受けること。

・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。包装箱などを持参して、本剤の有効成分等の情報を医師に伝えることが望ましい。

（猫に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・まれに、他の外用殺虫剤と同様に本剤の投与後、個体差による一過性の過敏症（投与部位の刺激によるそう痒、発赤、脱毛）が起こることがある。もし、症状が持続または悪化する場合は、直ちに獣医師に相談すること。
- ・まれに、本剤の投与により、投与部位の被毛の変色が見られることがある。
- ・動物が舐めた場合、一過性の流涎が観察されることがある。そのため、滴下部位を他の動物が舐めないように注意すること。
- ・本剤を猫に高用量で投与した安全性試験において、投与後に一過性の瞳孔の拡張が認められたが、数日以内に自然に回復した。

（専門的事項）

① 対象動物の使用制限等

- ・本剤は7週齢未満の子猫には投与しないこと。
- ・衰弱あるいは高齢の猫に投与する場合は、投与の是非を慎重に判断すること。
- ・本剤の妊娠中及び授乳中の猫に対する安全性試験は実施されていない。本剤に含有される各有効成分に関して、ラット及びウサギを用いた実験室内での試験の結果、催奇形性、胎子毒性及び母体毒性は認められなかった。本剤の妊娠中及び授乳中の猫に対しては他剤による治療あるいは予防が困難な場合にのみ投与すること。
- ・本剤の投与前に犬糸状虫寄生の有無を検査等により判定すること。犬糸状虫寄生が疑われる猫には投与の是非を慎重に判断すること。

② その他の注意

- ・本剤により駆除された条虫類は、体節がバラバラになり半透明の状態で排出されるので、確認の際は注意深く観察すること。
- ・本剤はフィラリア予防又は消化管内寄生虫の駆除あるいはそのどちらも必要な地域で、ノミ又はマダニの寄生若しくは寄生リスクのある猫への使用が推奨される。
- ・エキノコックス症は人獣共通感染症であり、ヒトにおいては感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律において4類感染症に指定されている。獣医師は発見後、飼い主の安全の確保及び感染拡大防止のための対応を飼い主に指導すべきである。詳しくは厚生労働省ウェブサイトを参照のこと。

【使用の期限】

外箱に記載

【包装】

ブロードライン S 0.3 mL 3本/箱  
ブロードライン L 0.9 mL 3本/箱

【使用方法】



点線に沿ってハサミでカットしてフィルムを剥がし、シリンジをプリストアから取り出します。



シリンジのキャップ部を上こし、内筒を1 mmほどゆっくり、まっすぐに引き、空気が入っていることを確認します。シリンジの再利用を防ぐために、先端のゴムと内筒が外れやすくなっていますので、ご注意ください。もし先端のゴムから内筒が外れてもそのまま押し出し滴下して構いません。



キャップ部を上に向けたまま、ゆっくりキャップを回しながら外します。



肩甲骨の間の部位にシリンジの全量を滴下します。投与した液体が流れ落ちないようにするために、皮膚が見えるように被毛をかき分けて、直接皮膚の上に滴下してください。押し出すときには、勢いをつけずにゆっくりと押ししてください。勢いをつけると、液体が飛び散ることがあり、猫の被毛に付着したりして、猫が嫌がったりしますのでご注意ください。



本剤は外用投与のため、注射及び経口投与しないようご注意ください。

【製品情報お問い合わせ先】

ペーリンガー・インゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社  
〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1  
TEL:0120-499-419

【販売元】

 **日本全薬工業株式会社**  
ZENOAQ 福島県郡山市安積町世字平ノ上1-1

【製造販売業者】

 **Boehringer Ingelheim** ペーリンガー・インゲルハイム  
アニマルヘルス ジャパン株式会社  
東京都品川区大崎2-1-1

◎ 登録商標

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/rval/fyakutou/fukusyo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。